

令和7年度第1回
三重県職業能力開発審議会
議 事 録
(概 要)

令和8年1月27日(火)

1 開催日時

令和8年1月27日(火) 14時00分から14時45分まで

2 開催場所

勤労者福祉会館4階 第3教室(三重県津市栄町1丁目891番地)

3 出席者

【学識経験者】

加藤 貴也 会長 三重大学 大学院地域イノベーション学研究科 准教授
林 浩一 委員 鳥羽商船高等専門学校 情報機械システム工学科 教授
和田 欣子 委員 元県立学校校長・元ユマニテク医療福祉大学校長

【事業主代表】

大西 史夫 委員 旭鍍金株式会社 取締役 総務部長
前田 朝子 委員 三重県中小企業レディース中央会 会長
稲垣 法信 委員 三重県鐵構工業協同組合 理事長

【労働者代表】

廣瀬 純子 委員 日本労働組合総連合会三重県連合会 副事務局長
佐橋 洋一 委員 JAM東海 オルガナイザー
大西 孝明 委員 三重県建設労働組合 副執行委員長

【特別委員】

谷口 智一 特別委員 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
三重支部 三重職業能力開発促進センター所長

※欠席委員

学識経験者 杉浦 礼子 名古屋学院大学 経営学部 教授
特別委員 山口 大樹 特別委員 三重労働局職業安定部 部長
(土屋 ゆり 三重労働局訓練課 課長が代理出席)

【事務局】

県関係部局職員 9名

4 議題

【議題1】三重県の職業能力開発に係る事業の実施状況及び今後の予定について

【議題2】三重県職業能力開発審議会運営要領の策定について

5 議事録

【議題1】三重県の職業能力開発に係る事業の実施状況及び今後の予定について

(事務局 三重県雇用経済部雇用対策課 から資料1に基づいて説明)

(障がい者雇用に関する取組・周知等について)

【大西史夫委員】

・障がい者委託訓練の内容について教えてほしい。

【事務局(津高等技術学校)】

・1点は津高等技術学校で、障がい者の方向けの訓練を厚生事業団の運営する施設をお借りして、そちらでOA事務を中心に訓練している。

【事務局(障がい者雇用・就労促進課)】

・委託訓練は、障がい者の方で求職をされている方が、県内の障がい者雇用を考えていらっしゃる事業所に訓練という形で3か月間就労についていただくというもの。

【大西史夫委員】

・今年、障がい者の法定雇用率が上がるので、このような取組を引き続きお願いしたい。

【加藤委員】

・企業とのマッチング等はどうに行っているのか。

【事務局(障がい者雇用・就労促進課)】

・マッチングは基本的にはハローワークが実施しているため、県は企業説明会や企業見学会を県下3地域で実施している。

・ハローワークと一緒に、各ハローワーク単位での面接会もしている。

・雇用契約というところまで至らない場合に、障がい者には訓練という形で入っていただくが、そのあたりを県のコーディネーターでフォローしている。

【加藤委員】

・人口減少の中で、地域の皆さんが活躍できるように、働きたいところでしっかり力を発揮していただくことを推進していく上で、非常に重要な事業だと思う。

・ただ、このような制度などのすばらしい事業が多分知られていない。

【前田委員】

・これだけのシステムがあるのなら、もっとPRすることが大事。

【加藤委員】

・PR活動はどういったような状況になっているか。

【事務局(障がい者雇用・就労促進課)】

・周知不足というところはしっかりと反省して取り組んでいきたいと思う。

- ・福祉の部門との連携というのも非常に大事だと思うため、産福学の方が集まり、意見交換をしていくような交流会を今年から始めた。四日市・津・伊勢の3か所で 118 人くらいの方にお集まりいただいた。
- ・個別にニーズのあるところに丁寧にお伝えしていくこともしているが、もう少し広く周知していくことも考えていかないといけないと思っている。

(グレーゾーンの方の雇用について)

【稲垣委員】

- ・発達障がいの方を採用して、健常者とは異なったプログラムで教育しているが、障害者手帳がないと、障がい者雇用の1人としてカウントされない。グレーゾーンの方についても障がい者雇用のカウントに加味してもらいたい。

【事務局(障がい者雇用・就労促進課)】

- ・障がい者の法定雇用率を含めて、国の制度は障害者手帳の所持の有無が関わってくるところがあるが、先ほど申し上げた、県が実施している交流会や企業説明会については、障害者手帳を所持していない、いわゆるグレーゾーンの方についても支援させていただいている。
- ・障がい者の法定雇用率の件は労働局の管轄になるため、県の会議でそのようなご意見をいただいたということを共有する。

(津高等技術学校の定員充足率等について)

【佐橋委員】

- ・普通課程の充足率が 100%でないところがあるが、そのあたりの状況を教えてほしい。
- ・充足率を上げるためにも、津高等技術学校の PR を今後どのようにしていくかも教えてほしい。

【事務局(津高等技術学校)】

- ・各高等学校の進路指導の先生のところに私どもの指導員が訪問し、魅力を伝えている。
- ・ただ、今まで、既卒の方へあまり伝わっていなかった面があったのではということで、今年から、県政だよりやFM三重のラジオで PR している。
- ・職業能力開発校は法律に基づき各都道府県に設置される学校であるため、今年、国に対しても広報について力添えをいただきたいということをお願いした。
- ・三重労働局と2月14日にイオン津南でイベントを実施する予定。子どもたちがものづくりに関心を持ってくれるような取組をしていきたい。

【佐橋委員】

- ・普通科や商業科卒の女性がものづくり産業に就職した場合、知識がほぼないため

苦勞しているのが現状。津高等技術学校では女性もしっかりと学べるということを PR するのが大切。

- ・継続的に求人を出してもらっている企業には、OBの方に来ていただいて話してもらうといった形で協力を仰ぐことが必要だと思うので、検討してほしい。

【事務局(津高等技術学校)】

- ・企業への PR としては、中小企業団体中央会や商工会議所に行き、津高等技術学校では在職者訓練も実施しているということも伝えている。

【議題2】三重県職業能力開発審議会運営要領の策定について

(事務局 三重県雇用経済部雇用対策課 から資料2に基づいて説明)

【加藤委員】

- ・対面開催は大事だが、コロナ禍などを考えると開催方式に幅を持たせたほうがよい。

【前田委員】

- ・顔が見えるほうが活発な議論ができるので対面で開催し、遠方の委員は Web で参加できるよう、併用で開催するのがよいと思う。

(以上)